

令和8年2月25日



令和8年度当初予算案

躍進の年 共に育ち 共に守り 共に創る
～元気がめぐるまち～



播磨町令和8年度当初予算規模

一般会計

過去最大
規模

143億8,515万3千円

【前年度比 +1億7,699万9千円 (+1.2%)】

特別会計

85億5,213万7千円

【前年度比 +2,491万7千円 (+0.3%)】

企業会計

33億1,055万3千円

【前年度比 -4億8,264万9千円 (-12.7%)】



町税収入(当初予算比較)

過去最大
規模

60億7,011万6千円

【前年度比 +1億7,583万6千円 (+3.0%)】

一般会計町債残高(年度末見込比較)

107億2,523万3千円

【前年度比 -4億2,045万5千円 (-3.8%)】



町民1人あたりの借金
308,586円

基金残高(年度末見込比較)

43億2,619万9千円

【前年度比 -10億6,046万9千円 (-19.7%)】



町民1人あたりの貯金
124,473円

※令和8年1月31日時点播磨町人口:34,756人



令和8年度 施政方針



播磨町をもっと元気に

町長就任以来、私の変わらぬ想いです。

「**地元の産業を元気にし、そのチカラを子育てや教育、福祉などに役立てることで、みなさまの暮らしを元気に。そして、ひとが集い、まちはさらに元気に**」
 —このようなまちづくりをめざして、みなさまからたくさんのお声をいただき、その想いに寄り添いながら町政の舵取りを担ってまいりました。

こうした流れを一過性のものにするのではなく、これまでみなさまと共に創りあげてきた制度と仕組みをより確かなものとし、さらに力強く推し進めていくために、令和8年度は次の**3つの『めざすまち』**に向かって凡事徹底し、勇往邁進の姿勢で様々な課題に取り組んでまいります。

3つの『めざすまち』

学び合い 共に育つ まち

まちの未来を担うのは、子どもや若者です。子どもたちを地域全体で支え、見守りながら、子どもがすこやかに成長でき、「このまちで子育てしたい、学びたい」という思いに応える取組みを進めてまいります。

支え合い 共に守る まち

みなさまの命と財産を守ることは町の重要な責務です。いざという時には、協力して支え合い、助け合える温かな地域のつながりがあり、心穏やかに住み続けられるまちの実現に向けた取組みを進めてまいります。

チカラを 合わせ 共に創る まち

みんなが活躍するまちを実現するためには、それぞれの強みを生かした取組みが必要です。いろいろなチカラを掛け合わせ、誰もが心豊かに幸せな生活を送れるまちづくりを進めてまいります。



令和8年度の主な取組み



継

市街化調整区域のまちづくり検討 (都市計画変更業務委託事業)

都市計画課:14,181千円

町西側、北古田及び大中周辺地域の市街化調整区域と、町東側、東野添及び二子周辺地域の市街化調整区域について引き続き関係者との勉強会や意見交換等を通じて、将来に向けたまちづくりの検討を進めます。

新

道路の新設改良

土木課:230,000千円

町道未整備区間を整備し、安全確保や利便性向上を図ります。

- 上の池本荘北線
- 古宮川端線
- 大池東道路



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん・やよいちゃん

継

土山駅北まちづくり

都市計画課:87,826千円

土山駅北エリアにおいては、令和9年度末の土地区画整理事業の都市計画決定をめざします。令和7年度に住民の方とともに作成した「まちづくり基本計画」を踏まえ、再整備に向けた詳細な計画・設計の検討を行うとともに、これに必要な調査を進めます。

継

総合体育館大体育室空調整備

協働推進課:208,091千円

繰越事業

総合体育館の大体育室に空調設備を設置することで、利用者が安全で快適にスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、大規模災害時の避難所としての環境改善を図ります。



総合体育館大体育室

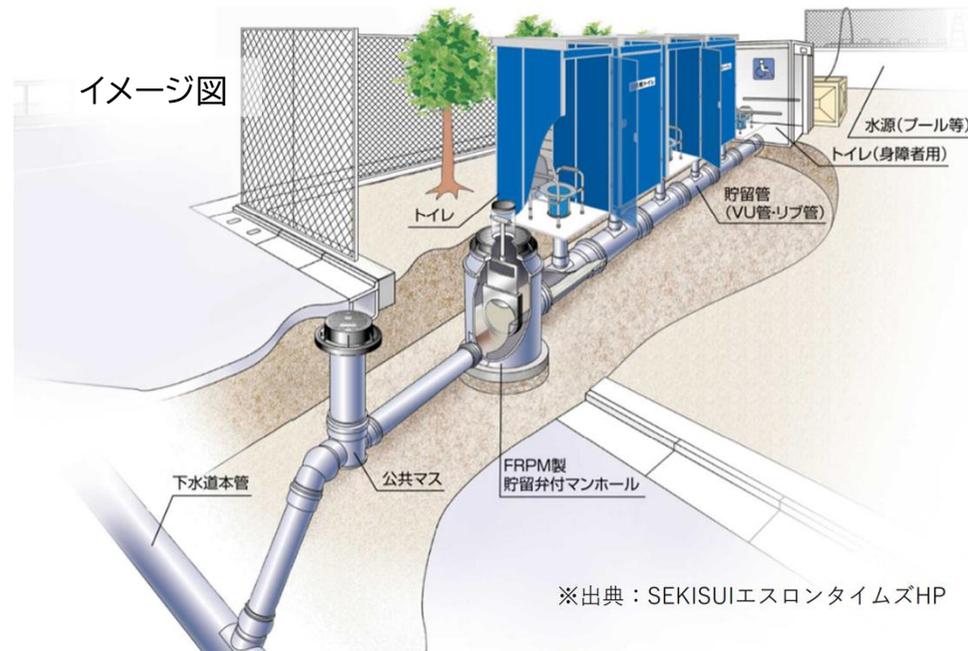
継

学校へのマンホールトイレの整備

上下水道課:44,000千円

公営企業会計事業

避難所となる各小学校を対象にマンホールトイレの整備工事を実施します。令和8年度は、蓮池小学校と播磨小学校に整備します。

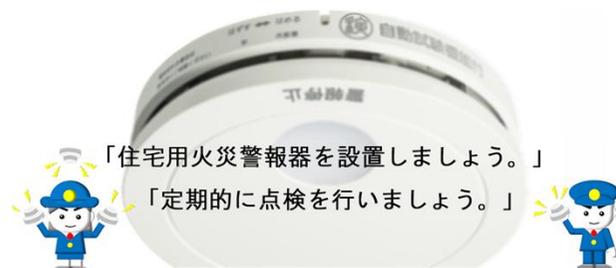


新

住宅用火災警報器設置助成

危機管理課:200千円

全国的に住宅火災による高齢者等の死亡事故が相次いでいることから、高齢者や障害者手帳の交付を受けた方を対象に、住宅用火災警報器の取付費用の一部を助成します。



新

避難所における福祉避難室用折り畳み式ベッド導入

危機管理課:275千円

各小学校に福祉避難室を設置するために、気泡緩衝材でできた折り畳み式ベッドを導入します。

新

被災者生活再建支援システムの導入

危機管理課:3,445千円

能登半島地震での教訓をもとに、被災者の生活再建支援に活用するため、罹災証明書発行や応急危険度判定、家屋被害認定等の業務を行う災害対応システムを導入します。

継

見守りカメラの効果検証

危機管理課:194千円

通学路などに設置した見守りカメラの映像を、加古川警察署へ速やかに提供するためのシステムを整備し、事件の早期解決につなげることで、安全安心のまちづくりに努めます。また、運用状況を確認する委員会を設置し、事業の効果等を検証します。



教職員用公用スマートフォン

新

教職員用公用スマートフォン貸与

教育総務課:5,781千円

学校における児童生徒の安全確保のため、教職員に緊急連絡用の携帯電話(スマートフォン)を貸与します。



新

地球温暖化対策の推進

産業環境課:4,010千円

- 自家消費型住宅用太陽光発電設備等設置費補助

住宅に太陽光発電システム及び蓄電池システムを設置し、発電した電力を自家消費する場合に、設置費の一部を助成します。

- V2H充放電設備設置費補助

電気自動車等の普及を推進するため、家庭用電気自動車等充放電設備(V2H)の設置費用に対して補助金を交付します。



新

製品プラスチックの分別収集

産業環境課:2,000千円

プラスチックのリサイクル向上を図るため、製品プラスチックと容器プラスチックの一括収集実証実験を実施します。

新

エネルギーの地産地消

産業環境課

「エコクリーンピアはりま」で発電したCO2フリーの電力を2市2町の公共施設に供給するため、地域新電力会社「とうばんクリーンエナジー株式会社」を新たに設立しました。エネルギーの地産地消を進めることで、二酸化炭素排出量の削減と地域循環経済の構築をめざします。



エコクリーンピアはりま



新

ライトアップ啓発事業

健康福祉課:1,271千円

認知症月間やピンクリボン月間など様々な啓発期間に合わせて、役場第一庁舎の壁をシンボルカラーにライトアップします。啓発活動に込められたメッセージを視覚的なアプローチで広く発信することで、意識や関心を高め、理解の促進を図ります。



庁舎ライトアップ

新

「高血圧ゼロのまち」宣言・公共施設への血圧計の設置

健康福祉課:444千円

令和7年度に兵庫県内で2番目となる「高血圧ゼロのまち」を宣言しました。現在、血圧計のない公共施設に新たに設置するとともに、血圧計を設置している町内の公共施設をまとめた地図を作成し、住民の健康管理を支援します。

新

歯科衛生士の配置

健康福祉課:1,101千円

東播磨圏域の市町では初めて歯科衛生士を配置し、乳幼児から高齢期まで切れ目のない支援や、災害時の対策など、多岐にわたる歯と口の健康づくりを推進します。

継

食育の推進

教育総務課:5,214千円

食の安全を確保できるように、管理栄養士を配置し、食育活動を推進します。

継

歯及び口腔保健対策

健康福祉課:2,921千円

町内すべての保育施設・幼稚園の4歳児と5歳児を対象に、フッ化物洗口液でのうがいや、20歳から70歳までの5歳刻みの方全員に歯周病検診を実施します。



フッ化物洗口



拡

重度障害者(児)日常生活用具給付等助成

健康福祉課:10,196千円

障がい者(児)の日常生活用具給付について、自家発電機や蓄電池等を対象品目に追加します。加えて、点字ディスプレイや音声体温計等の給付対象者を拡大することで重度障がい者(児)の生活の質の向上と経済的負担の軽減を図ります。

継

高齢者補聴器購入費助成

保険課:1,800千円

聴力機能の低下により日常生活に支障が生じている高齢者に対して補聴器購入費用の一部を助成します。

継

高齢者安全サポート車購入等補助

保険課:410千円

高齢者が運転する自動車事故の防止や事故時の被害軽減のため、65歳以上の方を対象に、中古のセーフティ・サポートカーの購入費用や、所有車両に「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」を取付ける費用の一部を補助することで、高齢者が自動車を安全に運転できる環境を整備します。



補聴器

人権尊重

継

「播磨町いきる・そだつ・まもる・こどもの権利条例」の施行

こども課:4,738千円

令和8年4月に施行される「播磨町いきる・そだつ・まもる・こどもの権利条例」について、小中学生向け、一般住民向け、こどもに関わる専門職向けの講演会をそれぞれ開催するとともに、公募で選ばれたこどもたちが話し合う「こども会議」を開催します。また、こどもからの相談に対応できる相談専用ダイヤルを設置し、擁護体制を構築します。



こどもの権利に関する講演会



新

ひとり親世帯等の大学等受験料助成

健康福祉課:795千円

児童扶養手当の受給世帯など、経済的な課題を抱えるひとり親家庭の子どもを対象に、大学入試等の受験料の一部を助成することで、進学をめざす子どものチャレンジを応援します。

新

産後ケア施設事業者の参入促進

こども課:1,500千円

利用ニーズが増加している産後ケア事業について、新たに町内で開設または既存施設を改修する際の費用の一部を補助します。

拡

不妊治療・不育症治療費の助成

こども課:4,740千円

特定不妊治療費、一般不妊治療費及び不育症治療費の助成を拡充します。治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減することで、不妊症の早期発見、早期治療を図ります。

拡

妊婦健康診査・産婦健康診査費用の補助

こども課:32,510千円

妊婦の健康の保持と増進を図るため、妊婦健康診査費用を助成するとともに、多胎妊婦には追加助成を行います。また、令和8年度からは産婦健康診査費用の助成制度を新たに設けて経済的負担を軽減することで、産婦の心身の健康を支援します。

拡

産後ケア事業の拡充

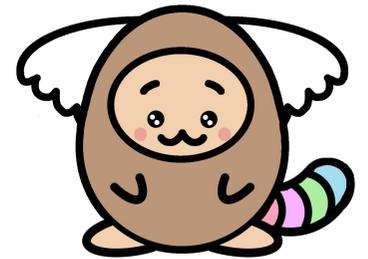
こども課:6,773千円

産後ケア事業について、利用しやすい制度へと見直しを行います。

- 多子世帯の利用日数上限の拡充
- 通所型きょうだい児預かりの補助
- 時間単価制に見直し



子育て支援

播磨町子育て支援キャラクター
はりまーも

新

播磨西小学校水泳授業民間委託

教育総務課:8,193千円

播磨西小学校のプールが老朽化していることから、こどもたちが安全に水泳の授業を受けられるよう、試行的に指導を民間事業者に委託します。

継

「漢字検定」・「英語検定」・「数学検定」受検料助成

地域学校教育課:531千円

町内の全小中学生を対象に、日本語力(漢字)、英語力、数学力の向上や家庭における学習習慣の定着を図るため、「漢字能力検定」「実用英語技能検定」「実用数学技能検定(数学検定・算数検定)」の受検料の半額を助成します。

継

プログラミングドローン授業の実施

地域学校教育課:1,729千円

民間ドローンスクールに委託し、プログラミング授業を実施します。



プログラミングドローン

協働・行政

拡

「はりま音頭」「はりま☆土器ドキ☆ダンス」動画制作

企画課:2,607千円

本町で長く親しまれてきた「はりま音頭」と「はりま☆土器ドキ☆ダンス」の振り付けを、楽しく覚えらるる動画を制作し発信します。幅広い世代に、様々な場面で踊るきっかけを広げていくことで、郷土への愛着を育みます。



はりま☆土器ドキ☆ダンス



継 別府鉄道リニューアル

郷土資料館:40,938千円

地域で愛されている別府鉄道の車両展示について、関係機関と連携しながら、貨物車両を追加で設置します。また、別府鉄道の魅力を発信するグッズ等の開発に努めます。



新 喜瀬川こいのぼり

協働推進課

子どもたちのしあわせとすこやかな成長を願って、春風に吹かれ大空を泳ぐこいのぼりをふるさと橋に掲げます。



新 播磨中学校屋内運動場大規模改造

教育総務課:21,174千円

播磨中学校屋内運動場を全面改修し、安全で快適な学習環境の充実を図ります。令和8年度は設計業務を実施します。

新 蓮池小学校南校舎大規模改造

教育総務課:15,292千円

蓮池小学校南校舎を全面改修し、安全で快適な学習環境の充実を図ります。令和8年度は設計業務を実施します。

継 播磨南中学校西校舎大規模改造

繰越事業

教育総務課:407,909千円

老朽化した播磨南中学校西校舎を令和6年度から3か年かけて、全面的に改修しています。令和8年度は西校舎の北側半分を改修し、安全で快適な学習環境を整備します。

拡 「新」東部コミュニティセンター
令和8年4月6日 グランドオープン!

協働推進課:22,695千円



新

小中学校における給食費無償化・幼稚園給食開始

教育総務課：447,157千円

播磨町での子育てを支援するため、国における学校給食費の抜本的な負担軽減政策に基づき、小学校給食費を無償化するとともに、中学校給食費についても、町独自で無償化を行います。また、保護者の負担軽減を図るとともに、幼児の食への意欲や関心を育むために、令和8年度から幼稚園において、給食の提供を開始します。



広域連携

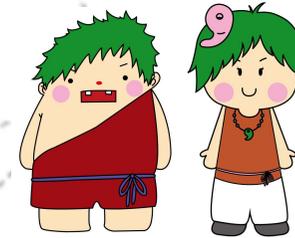
広域連携



稲美町イメージキャラクター
いなっち



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん・やよいちゃん



多可町公式キャラクター
たか坊・ふう子



播磨町PRキャラクター
てんいちさん・たてよこさん

継

学校給食における地元食材の活用

産業環境課: 3,003千円



こどもたちの地産地消の意識醸成を図るため、地元産品や加工品を小中学校と幼稚園、認定こども園の給食の食材として提供します。令和8年度は、稲美町との協定に基づき、両町の産品を相互に取り入れながら地域での地産地消を推進します。



新

クアオルト健康ウォーキング

健康福祉課: 1,050千円



令和7年度に兵庫県で唯一「クアオルト健康ウォーキング」を導入している多可町と連携協定を締結し、生活習慣病やロコモティブ・シンドロームの予防に取り組みます。心身の健康づくりを目的に、播磨町では体験できない、森林でのウォーキングを推進することで、住民の心身の健康づくりや健康寿命の延伸を図ります。



3	×3	で
ち	よ	う
ど	い	い

